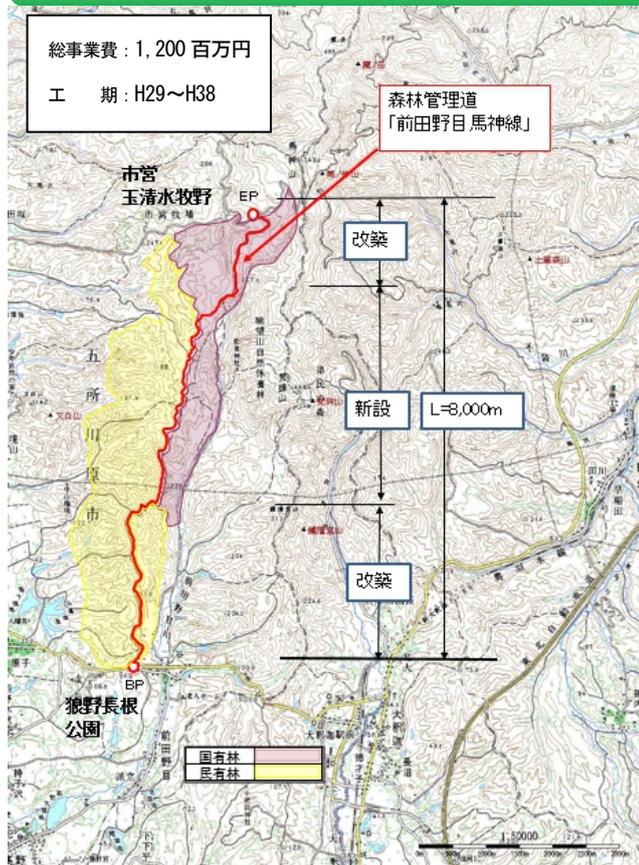


効率的な木材生産など林業生産活動を支えるのは林道だ！（西北地域県民局の巻 その34）



～森林管理道「前田野目馬神線」周辺の森林と路網の現状～

五所川原市狼野長根公園付近から五所川原市営玉清水牧野までを結ぶ約 8 km 区間の森林地帯に、森林管理道「前田野目馬神線」の名称で林道を整備しています。この森林地帯の森林資源は、地域の方々が大切に育成してきたスギを主体とした人工林（人為的に育成した森林のこと。）が大宗を占めており、今まさに建築材など本格的な利用期を迎えているところです。

森林内で伐採作業を行う林業機械や木材の運搬には、大型の運搬車の通行が必要となりますが、この森林地帯には、約 4 km 弱の区間に林道がなく、また、既存の林道は、車道幅員が 3 m 以下でカーブがキツイなど、大型の運搬車が容易に進入できる状況ではありませんでした。

～森林管理道「前田野目馬神線」の役割と期待するもの～

このため、この森林地帯の既存林道や森林作業道をつなぎ、幹線道路として林内土場（一時的に丸太を集積する場所のこと。）施設から木材加工施設等に直接輸送できるように、規格構造が車道幅員 4 m で舗装道の林道整備を計画したところです。

この林道整備では、木材資源の有効利用や原木輸送コストの軽減により、森林所有者に対する収益の還元と共に再生林を推進し、森林の持つ公益的機能の持続的発揮や森林資源の循環利用が図られ、その効果は、林業・木材産業にとどまらず、地域経済の活性化や農山村の振興に大きく寄与していくものと期待されています。

～「前田野目馬神地区環境公共推進協議会」現地説明会開催！！～

「前田野目馬神地区環境公共推進協議会」は、平成 30 年 7 月 10 日に森林管理道「前田野目馬神線」計画地内で現地説明会を開催しました。協議会の活動とともに当事業は着実に動き出しました。当日の現地説明会には、協議会メンバーの



林道の完成イメージ

ほか、関係機関担当者、環境公共コンシェルジェの三森氏が参加され、路線計画や既存の林道・作業道との接続箇所の意見交換を熱心に行いました。特に、林内土場施設、車回し及び待避所の箇所選定については、「この場所にして！」など具体的な多数のご意見をいただき、実り多い現地説明会となりました。今後は、関係者の利便性が高く、更なるコスト削減につながるような整備が促進することでしょう。当説明会にご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



林道が整備され森林整備が促進されるイメージ



作業道と接続するには
もっと低くなきゃ！

現地説明会の状況

～ 丸太を生産する作業とはどういうもの？ ～

- 【スギ君】 山から切り出した木を「丸太」と呼ぶそうだけど、丸太を生産する作業は、どのようにしているの？
- 【おべ様】 丸太を生産するためには、「伐採」、「玉切り」、「集材」、「運搬」という工程で行うのだ。
まず、「伐採」は、立木を根元からチェーンソーで切り倒し、次に「プロセッサ」という林業機械で不用な枝を落としてから、ニーズにあった長さに切断する「玉切り」を行う。これを一気に1台で行うことができる「ハーベスタ」という林業機械もあるぞ。「プロセッサ」と「ハーベスタ」は高性能林業機械の仲間で、ベースマシンは建設機械を使用し、専用ヘッドの仕組みが異なるのだ。
- 【スギ君】 へえー、作業員が立木に触れないこともあるんだ。「集材」というのは、丸太を集めることだよな。テレビで馬が丸太を運んでいる映像は見たよ。
- 【おべ様】 それは、植生保護など本当に特殊な場合であって、実際には、「グラップル」と「フォワーダ」という林業機械で丸太を林内土場施設まで運ぶのだ。そして、林内土場施設まで運ばれた丸太は、大型トラックで木材加工施設等に運搬するんだ。
- 【スギ君】 林業は、作業員が乗用機械を多用するハイテクな作業なんだね。
- 【おべ様】 林業機械を多用することは、作業効率が大幅にアップするし、作業員の労働安全にもつながるのだ。
- 【スギ君】 一度、伐採現場を見学したいな。林道が完成すると、このように効率的な木材生産など林業生産活動を支えていくことになるんだね！ そういえば、「前田野目馬神線」の林道は自宅から近いな。早く完成してくれないかなあ～。

プロセッサによる玉切り作業



グラップル、フォワーダによる集材



林内土場施設でトラックを待つ丸太

